

人口と世帯
 50.4.1現在
 男 5.778人
 女 6.063人
 計 11.841人
 世帯数 2.691

みくに報

編集 国見町役場
 発行 (企画課)

昭和50年4月15日

No. 22



記念樹

ぼくたちは
 白かばの木といつしよに
 育って行く

大地に根をはり
 広い大空にむかって

そこは、
 はてしなく高いけど
 嵐になんか負けないで
 強くまっすぐ伸びて行こう

暖い日ざしにめぐまれた去る四日、町内の各小学校の入学式が一斉に行われました。
 ことしの小学校の新入生は、小坂小二〇人、藤田小八十五人、森江野小三十二人、大木戸小十五人、大枝小五人（国見町分）の、合計百五十七人で、新しいランドセルを背に元気いっぱい登校しました。

(写真は小坂小学校一年生の記念植樹)

算のあらまし

特別会計 3億3千万円



昭和五十年三月定例町議会は三月十日から同十五日までの会期中開かれ、昭和五十年当初予算など三十五議案が提出され、いずれも原案どおり可決されました。町議会で承認された昭和五十年の当初予算は一般会計で八億八千七十万円、特別会計で三億三千二百四十八万四千円となり、前年

一般会計

八億八千七十万円

度当初予算に対して、一般会計で二・八・四％、特別会計では二・四％の増加となりました。

特別会計の増加は医療費等の値上げ等による国民健康保険特別会計の増加によるものです。一般会計の増加は義務的経費の伸びによるもので、建設事業等の投資的経費は、むしろ減少しており本年度

町民の皆さんから納めていただく予定の町税は、歳入全体の一五・七％で一億二千八百六十四万二千円、前年と比べると、約一千万円（八・三％）の増加となつてお

町長施政方針の要旨

昭和五十年度一般会計の予算編成にあたっては、総需要抑制下にあつて町財政は極度に逼迫している現状にあるため、各部門毎に事業内容の緩急度を勘案し慎重を期するとともに、一般経常費は極力節減に努め、新規計画は差し控える方針で編成をいたしました。

一 民生関係については、高福祉の推進が強く望まれる現今、各

種施設の充実は勿論、町独自の施策として、重度身障者医療制度を拡大し身障者にあつては全級を追加、精薄者として、広く恵まれない方々の福祉増進を図るとともに民協の協力を得て心配ごと相談所を開設する所存であります。

二 農林業については、農産物、畜産物価格の不安定などから相変わらず専業農家は減少を示し

農外収入に多くを依存する傾向にありますが、ほ場の整備、農林道の整備による近代化を推し進めるとともに、農協の育成強化と相まって主産地形成を図つて参りたいと思ひます。

三 商工業の振興については、昨年実施した商店診断により各般にわたつて報告されましたが、特に当町は小企業が多く、その基盤も弱いため金融面より強化を図るため振興預託金を倍増し県の指導のもとに、その育成に努めて参りたいと存じます。

四 土木事業については、総需要抑制下にある関係上、当面は、継続事業、生活関連事業を重点として実施しながら、国、県の方針と財政的な具合いを考慮の上、逐次追加する方針であります。

五 教育費については、町の基礎造りであり、できる限り確保し、たつもりであります。また、町史編さん事業については本年度をもつて完成せしめたい所存であります。

〔歳入〕

地方交付税収入 全体の五七％占める

の予算は、かつてない非常に厳しい予算編成となつております。今月号では主として一般会計についてご紹介いたします。

歳入で最も多いのは地方交付税の五億二千万円、前年にくらべ約一億三千万円（三四・九％）の増加をしており、構成費においても歳入全体の五七・〇％を占め、町最大の財源となつており、依然として依存財源に頼るという運営となつております。この地方交付税は財政需要と財政収入の状況に応じ、一定の行政水準を維持させるため、いわゆる賈しい地方公共団体に対して国から交付されるものです。地方交付税には普通交付税と特別交付税とに分かれておりその総額は国税（所得税、法人税酒税）の三・二％の額と定められております。

昭和50年度予

一般会計 8億8千万円

り、町税の内訳は別表のとおりとなっており、

国、県支出金は、国や県が町などの地方公共団体が特定の行政を行う場合、これに要する経費に対し、その財源として、国、県から一定の割合で交付されるものであり、国庫支出金は七千五百五拾万円、国庫支出金は七千五百五拾万円、県支出金は八・六%を占め、県支出金は四千五百七拾円で四・六%を占めております。

これらのほかに、公営住宅や町道の建設のための借入金としての町債に約四千万円、自動車取得税交付金として約一千五百万円、地方譲与税、約一千三百万円、分担金及び負担金、約一千三百万円、使



歳出

料用及び手数料、約一千二百万円などが主たる財源となっており、

議会費

二千八百五十八万円

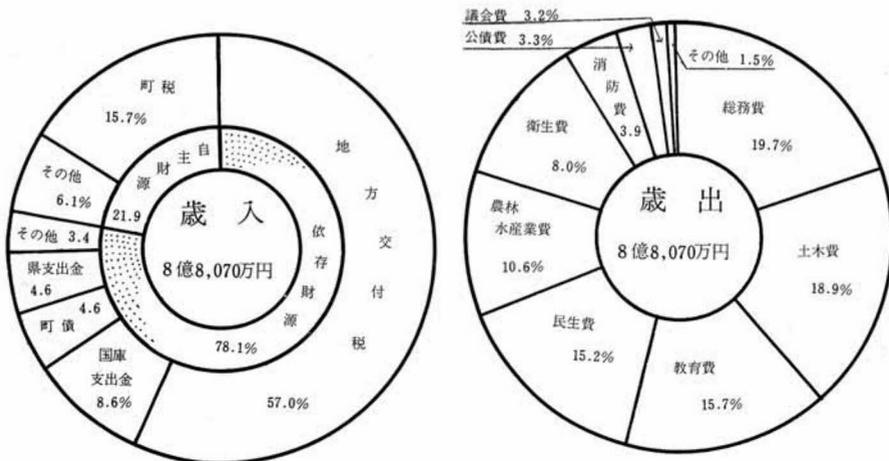
議員報酬、会議旅費、調査旅費などの議会運営費と事務局費からなっており、町議会の円滑な運営をはかるためのものです。

※町史1・4巻を発刊

総務費

一億七千三百四十二万円

当初予算歳入歳出の状況



※町税の内訳

項目	千円	%	項目	千円	%
固定資産税	60,704	43.8	電気税	7,265	5.2
町民税	46,439	33.5	木材引取税	20	—
市町村たばこ消費税	19,117	13.8	特別土地保有税	1,382	1.0
軽自動車税	3,715	2.7	計	138,642	100

1人当たり

11,708円

1世帯当たり

51,520円

歳出で最も多く、総額の十九・七%を占めております。

その主なるものは町三役や一般職員の人件費などの一般管理費、町報印刷などの文書広報費、徴税費、管理費、町史編纂費、徴税費、戸籍住民登録等に要する経費、選挙費、各種統計調査費など町民生活の安定向上のための一般の事務に要するいわゆる、経常的な費用です。

※完成近い養護老人ホーム

民生費

一億三千二百六十一万円
町民の福祉の向上と充実をはかるための民生費は本年度も老人や児童の福祉が重点となっており老人医療費のための扶助費、児童手当支給の扶助費、養護老人ホーム組合負担金などがその主なるものとなっております。前年と比べて約四千五百万円(五一・四%)増加しており、総額の二五・二%を占めております。

衛生費

七千二百六十六万円
町民の健康を守るため、成人病検診をはじめ各種の予防対策や清潔で美しい町づくりをする費用です。

主なるものとして、公立病院組合負担金、伊達衛生処理組合負担金などです。
前年に比べてみると、約三千三百万円(八七・六%)の増加を示し、伸び率では歳出の中で最高となっております。

※小畑、鳥取林道の開設事業を続行

農林水産業費

九千三百六十八万円
農林業の生産基盤の整備や経営近代化のための施設整備に要する費用で、ほ場整備、林道開設事業などが主なるものとなっております。前年と比べますと団体営かんがい事業が完了したことなどにより約一千八百万円(一六・四%)の減少となっております。

※公営住宅十戸建設

土木費

一億六千五百七十四万円
道路の新設改良費をはじめ、道路橋梁維持費、河川維持費、公営住宅建設費、都市計画費など主として建設の事業が計上される土木費は、前年にくらべ約三千万円(二二・五%)の増加を示しておりますが構成費においては一八・

九%で前年(二二・五%)より低くなっております。

教育費

一億三千七百九十六万円
幼児教育のための幼稚園費や義務教育のための小中学校費をはじめ社会教育費、スポーツ振興のための保健体育費など健康で豊かな情操と、高い知性を備えた円満な人づくりを主眼とした学校教育や社会教育の振興をはかることを基本方針としております。
前年に比べて約三千三百万円(三二・二%)の増加を示し、構成費も一五・七%で総務費、土木費に次いで第三位となっております

※特別会計予算

(千円)

会計名	予算額
国民健康保険	325,263
貝田簡易水道	2,151
入山財産区	1,825
育英財産区	2,243
大木戸財産区	538
藤田財産区	464
計	332,484

※公営企業 水道事業会計予算

(千円)

収益的	収入	38,499
	支出	38,499
資本的	収入	0
	支出	4,335

その他

火災などの災害を防止し、人命及び財産を守るための消防費に三千四百四十四万円、町がこれまでいろいろな事業をするため、国や県から資金を借入れた、いわゆる借入金返済のための公債費に二千九百二十七万円、労働費に百一十万円に備費に百万円などとなっております。

有放電話番号が一部変更

機構改革で保健課が新設されたのにもない、役場内無線電話の番号が一部変更になりました。

◆企画課

未設置 (当分の間4162にお願ひします)

◆総務課

4154

◆税務課

4163

◆住民課

4175

◆保健課

4161

◆建設課

4162

◆産業課

4164

◆会計室

4153

◆議会事務局

4152

◆教育委員会

4171

◆水道課

2087

(新設)

新入児童を交通事故から守ろう





夢はひろがるハイウェイ

首都圏へ直結

四月一日、町民待望の東北自動車道「郡山―白石」間、八三・一キロの一般供用が開始しました。これで「岩槻―仙台」間が全面開

通し、国見町もいよいよ首都圏と直結します。これからは、産業、経済、文化の飛躍的發展が予想され、地域開発の大動脈として大きく期待がかけられています。

あつかし山頂から高速道路を望む(上)

自動車道建設のあゆみ (国見町)

- 41.7.25 東北自動車道「岩槻―仙台」間310kmの整備計画決まる
- 8.8 予定路線の発表
- 43.8.1 国見町東北自動車道路建設対策本部を設置
- 8.29 「福島―国見」間40.23kmの確定路線の発表
- 9.10 地権者会の発足
- 44.3.31 大字山崎地内で町内第1号の中心杭の設置
- 3.31 中心杭打設作業
- ~6.30 測量調査
- 7.3 幅杭打設
- 45.6.5 幅杭打設
- ~7.30
- 46.3.27 大字貝田地内にサービスエリア施設の建設発表
- 47.3.10 国見インターチェンジ設置建設の発表
- 50.4.1 「郡山―白石」間一般供用開始
- 「岩槻―仙台」間316.3km全面開通

本道
延長：七・二四キロメートル
面積：四〇ヘクタール
(四〇町歩)

ひとくちメモ (国見町)

運転手の疲れた神経を休ませるいいの場。上り線、下り線とも総面積九ヘクタールで、レストハウス、ガソリンスタンドなどが設けられており、駐車場は二百台が収容できる。阿武隈山系と信達平野が一望できる。

サービスエリア

・運転手の疲れた神経を休ませるいいの場。上り線、下り線とも総面積九ヘクタールで、レストハウス、ガソリンスタンドなどが設けられており、駐車場は二百台が収容できる。阿武隈山系と信達平野が一望できる。



「郡山―白石」間開通式

・道幅：三三メートル

(片側十メートル、分離帯三メートル)

・移転した家屋：四十九戸(IC SAも含む)

インターチェンジ

・総面積三・九ヘクタールのシングルトラックベット型。県内最小のICである。高速道路の出入口にあたり、県北地方の果樹、特にモモ、リンゴなどを高速ルートで運ぶために計画された。

普通車の料金表

	国見	福島	福島	二本	郡山	須賀	矢吹	白河	白石	仙台	宇都	岩槻
	敷取	敷取	西	松	山	川	川	川	川	南	宮	橋
国	×	200	400	700	900	1,200	1,300	1,500	400	800	2,200	3,100
福	200	×	200	500	800	1,000	1,200	1,400	600	1,000	2,100	3,000
福	400	200	×	400	700	900	1,000	1,300	700	1,100	2,000	2,900
島	700	500	400	×	400	600	800	1,000	1,000	1,300	1,800	2,700
敷	900	800	700	400	×	300	500	800	1,200	1,600	1,600	2,500
取	1,200	1,000	900	600	300	×	200	500	1,500	1,700	1,400	2,400
本	1,300	1,200	1,000	800	500	200	×	300	1,600	1,800	1,200	2,200
松	1,500	1,400	1,300	1,000	800	500	×	300	1,700	2,000	1,000	2,100
山												
吹												
河												
白												

スピード

・最高制限速度は、乗用車、バス普通貨物車(積載量五t未満)が百キロ、軽自動車、自動二輪車、三輪車、大型貨物車(積載量五t以上)、大型特殊車が八十キロ、最低速度はいずれも五十キロとなっている。ICの出入り道路ではさらに四十キロ以下にダウン。また積雪状態によりスピード制限をうけることもある。



4月(うづき)

- 18日◇発明の日
- 20日◇通信記念日◇郵便週間◇切手趣味週間
- 21日◇穀雨(こくう)
- 27日◇町議会議員選挙投票日
- 29日◇天皇誕生日

5月(さつき)

- 1日◇メーデー
- 2日◇八十八夜
- 3日◇憲法記念日
- 5日◇こどもの日◇端午◇児童福祉週間
- 8日◇世界赤十字デー
- 10日◇愛鳥週間
- 11日◇母の日

[メモ]

水ぬむ頃な金魚が活発に動く。魚の色は鮮やかで健康な群を長く飼育する。同様にこの

魚がそでとが雷と金魚は健康な和良し。鮮やかな付が良い。作っているのが。群を飼育する。

幕末の頃、加賀百万石といわれた前田家にお出入りのたくさんのお狂言師のうち、最上級といわれたのが坂東三津江であった。その門下生で、本名松井のいという人が創流して今日に至っているのが日本舞踊松島流である。

昭和四十八年には、東京宝塚劇場で創流百年記念祭舞踊会を行った。現在の家元松島金井は五世で



東京に在り、歌舞伎座や新橋演舞場など一流劇場で盛大な公演活動をつづけている。

お狂言師とは、大名の大奥のおそば仕えて踊りや歌舞伎を披露する女師匠のことである。

当町の阿部祥子さん、若名松島昇弘といい、三世家元の直弟子としてその訓育を受け名取となった。昭和三十八年国見町に帰郷し婦人会活動などを続けるなかで、



民謡発表会の応援

秋の町文化祭には、毎年勉強会の意味も含めて参加出演し、好評を博している。近頃は子ども会員もふえ、また中年婦人の運動不足やストレス解消に特効あると門下生は喜んで稽古に励んでいる。

しだいにレジャー時代を迎える傾向にあるこの頃のせいか、新入希望者もあり、民謡発表会への応援参加をしたりして松島会にはりきっている。

特にその特技を發揮していたが、四十四年十一月、同志達の熱心な勧めで、舞踊研究グループ松島会をつくりその指導者となった。

松島会は、現在正会員二十五名準会員十名で、日本舞踊を建前とするが、会員の希望により民謡舞踊も研究する。稽古は週一回師匠宅で、個人教授で行う。水、土曜日の午後と、金、土曜日の夜に分け、それぞれ都合のよい時に通うことになった。

国見史跡めぐり

題字は佐藤町長

14

塚野目城について

国見町内に在りする人々で塚野目城の名を知らない人はあまりないと思われ程有名であるが、しかし名は知っている人々には少ないのではなからうか。



東側の 澗(南から北を望む)

武鑑)による)一般に流布している尊卑分脈などの系図には正教の名が表われてこなく、別史料でこのことを確かめることができないうのが残念である。

この後、塚野目城がどのような歴史をたどったのか史料上に表われないのでさだかでないが、城としての保存がよいことなどを考えると、後の時代においてもその役割をはたしていたといえよう。

昭和十四年、森江野村では北畠頼家の六〇〇年祭に当り、塚野目城に記念碑を建立し、また、郷土の誇り「塚野目城跡」なる小冊子を作って村民に配布した。現、「正法寺」名は、正教を正法としたものといわれている。

城の規模は、東西が約一〇〇メートル、南北が約七五メートル程の長方形をした形で、その周りには幅が約二二メートルの濠がめぐらされ、城内には高さ約五メートル、幅が約一〇メートルの土塁がめぐらされている。現在は西方に一部その形をとどめている。南と北に入口、出口があったように思われる。城の規模は山崎城や石母田城に比較すれば小さいとい町内に残されている城跡の中では保存状況がよいと言える。

当城が歴史上に表れてくるのは南北朝争乱期の三三〇〜一五〇年代で、城主は北畠親房の子息、従三位左中将正教であったといふことであるが(靈山軍記・北畠

あそび場ができた!

— 光明寺 —

町では、明るく健やかな児童を育てようとして遊び場をつくっておりますが、この、通称わんぱく広場が、森山に続きこのほど光明寺に完成しました。

光明寺、福聚寺前にあるこの広場は、小高い見晴らしのよい所で部落の人たちみなさんの、熱意ある要望と協力

によってつくられました。

工事費は約五十五万で、これからの管理も部落の人たちがやってくれます。また

この場所は、福聚寺が無償で貸してくれました。

遊具は、ブランコ、すべり台、遊動盤ゆりかご、低鉄棒があり、子どもたちも大喜び、春の

訪れとともに元気いっぱい遊べるでしょう。



「ゆりかごで遊ぶ子どもたち」



これからは安心

町で初の歩道橋完成 4号線県北中学校わき

国見町では初めての横断歩道橋が、国道四号線上、県北中学校脇にこのほど立派に完成しました。国道四号線は、道四号線(一死)一(死)一(死)とわられるほど交通事故が多く、かつ

交通量の激しさは全国でも屈指の国道です。

この歩道橋は、少しでも歩行者の安全を守るうとする町の要望が実り、総工費一千七百万円を投じて、建設省東北地方建設局福島工事務所の手によって工事が進められていたものです。

幅は一・三メートル、自転車の利用も可能です。また、特に雪積および凍結防止のためのロードヒーティングも備え付けられました。

このように、歩行者や中学生の安全を図る歩道橋です。国道を横断する時は必ず利用しましょう。

山火事を

なくそう

踏切でエンコしたる

まぜ列車をとめる



防霜対策に万全を

四月から五月にかけては、寒暖の変動が大きく、霜のおりるおそれがあります。テレビ、ラジオの予報に充分注意をし、資材の確保に万全を期してください。



完成した歩道橋

おめでとう ございます

(3月中に婚姻届された人)



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|------|--------|
| 吉田 俊江 | 高橋 廣子 | 小島 利夫 | 菅野 せい子 | 大波 勇一 | 佐久間サト子 | 渡邊 孝一 | 阿部 素子 | 齋藤 武徳 | 半沢 幸子 | 武田 正昭 | 鈴木 睦子 | 佐藤 幸蔵 | 阿部 夕カ子 | 田村 幸司 | 高原 律子 | 佐藤 幸一 | 菅野 由理子 | 佐藤 隼夫 | 大野 れい子 | 新妻 正之 | 齋藤 秋子 | 齋藤 年 | 佐藤 フミ子 |
| 駅前 | 白石市 | 第十二 | 保原町 | 第九 | 第二 | 山崎北 | 福島市 | 福島市 | 白石市 | 第三 | 福島市 | 板橋 | 板橋 | 源宗山 | 泉田下 | 高城 | 内谷西 | 宮北 | 宮北 | 宮北 | 小坂 | 貝田 | 貝田 |

保健課を新設

町の行政機構を改革

四月一日スタート

企画室を企画課に

地方自治制度を整備するため、さまざまな法の改正や新しい制度の立法化が相次いで行われました。その中で、地域開発、住民の福祉向上など対住民関係の業務が新設され、事務量がますます増大かつ複雑化されております。

今まで室であったものを課に改め、特に、住民の声を反映しきめこまかな行政の推進を図るため、広報広聴係による対話の町政をすすめます。そして、長期展望に立つ総合的な開発計画をすすめます。

町では、これら行政需要に対応し、より一層住民のサービスにとめるため、昨年末、行政機構研究会を発足し研究を重ねました。その結果次のように改正され、五年四月一日から実施されました。

課の新設

住民課を二課に分け、住民課と保健課にしました。住民課には、戸籍住民係、福祉係、そして新たに生活環境係を設け、消防、公害問題、苦情処理などを担当します。また、保健課には国保係と保健衛生係を設けました。



辞令交付式

係について

○建設課に都市整備係を新しく設け、下水道など、都市化がすすむにつれての都市的機能の整備を図ります。

○評価の事務量の増大に伴い、税務課に新しく固定資産係を設けました。

職員の人事異動

機構改革と定期異動により、四月一日付で町職員の人事異動が発令されました。異動者は次のとおりです。

(退職)

▽佐久間忠三(役場)

▽佐藤 徳造(東北中学校)

▽菊地トミエ(蕨江野小学校)

▽菊地マサ子()

▽佐久間富貴子(藤田保育所)

▽菊地 ヤス(蕨江野小学校)

——桑折給食センターへ

(新任)

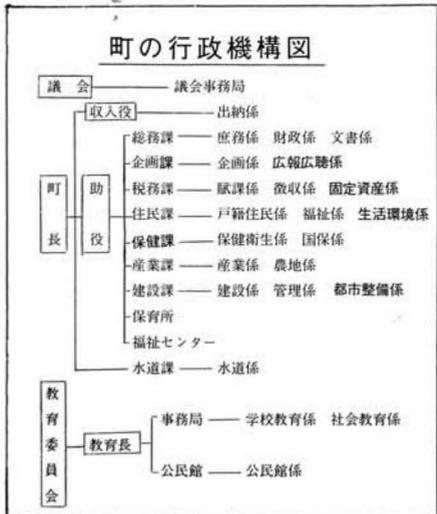
▽佐久間正 総務課文書係

▽菅野信朗 税務課固定資産係

▽後藤京子 住民課福祉係

▽金井邦子 藤田保育所

町の行政機構図



(内部異動)

○総務課

▽庶務係長(産業係長) 八島忠雄

▽庶務係(建設係) 松浦英夫▽文書係長(福祉係) 大沼勉

○企画課

▽企画課長兼企画係長(企画室長) 久野生活環境係長(公民館係長)

▽赤坂正勝▽企画係(徴収係) 佐藤則雄▽広報広聴係長(保健係長)

▽鈴木捷治▽広報広聴係(企画係) 黒田アヤ子

○住民課

▽戸籍住民係長(福祉係長) 山田

▽生活環境係長(公民館係長) 久野生活環境係長(庶務係)

▽高橋正夫▽福祉係長(賦課係長) 大浪敏男▽福祉係(徴収係) 佐藤

光一▽同(文書係) 佐藤孝

○税務課

▽賦課係長(徴収係長) 清水良男

▽賦課係(開発係) 奥山隆夫▽徴収係長(文書係長) 佐藤春夫▽徴

収係長(文書係長) 佐藤春夫▽徴

○保健課

▽保健課長(住民係長) 大波勇

▽保健衛生係長(水道係) 佐竹弘治

▽保健衛生係(保健係) 光野ヨシ

▽同(同) 熊坂惣五郎▽同(同)

収係(賦課係) 斎藤慶子▽固定資産係長(企画係長) 須田善治▽固定資産係(賦課係) 吉田俊江

○住民課

▽戸籍住民係長(福祉係長) 山田

▽生活環境係長(公民館係長) 久野生活環境係長(庶務係)

▽高橋正夫▽福祉係長(賦課係長) 大浪敏男▽福祉係(徴収係) 佐藤

光一▽同(文書係) 佐藤孝

○保健課

▽保健課長(住民係長) 大波勇

▽保健衛生係長(水道係) 佐竹弘治

▽保健衛生係(保健係) 光野ヨシ

▽同(同) 熊坂惣五郎▽同(同)

佐藤秀雄▽同(同) 国分次雄▽同
 (同) 古川正▽同 国保係長(年金係)
 (同) 佐藤正吉▽同 国保係(保健係) 渡
 辺ヨシエ▽同(同) 佐藤トヨ子▽
 同(同) 武田智

○産業課

▽産業係長(庶務係長) 大内正美
 ▽産業係(賦課係) 吉田孝夫

○建設課

▽建設課長兼都市整備係長(建設
 課長) 林長七▽建設係(保健係)
 吾妻正子▽管理係(建設係) 古川
 比司▽同(同) 嶋田栄一▽同(同)

男▽都市整備係(建設係) 吉田貞
 男▽都市整備係(建設係) 吉田貞

○教育委員会
 ▽学校教育係(建設係) 佐藤幸子

▽水道係長(年金係長) 井砂研二

○公民館
 ▽公民館係長(産業係) 佐久間靖

明
 ※今まで役場の二階にあった伊達
 西部土地改良区の事務所が、役場
 車庫の二階(元共済組合事務所)
 に移りました。

電話24115有41173
 どうぞよろしくお願いします。

国見町議会議員選挙
 投票日は4月27日

あなたの投票する一票が、今後
 四年間の町政について非常に大き
 な役目をはたします。あなたの目
 目よく見、あなたの耳でよく聞き
 よく考えて自由な一票を投票しま
 しょう。

不在者投票および郵便による
 不在者投票(在宅投票)

投票の当日、どうしても投票所
 へ行って投票ができない方のため
 の制度ですが、不在者投票のでき
 る期間は、告示の日(二十日)か
 ら選挙期日の前日まで(在宅投票



異動届は忘れずに

就職、進学、転勤など、四月
 は最も異動の多い月です。住所
 を離れる場合は必ず、転出証明
 を持つて行って、新しい住所地
 に転入届をしてください。届出
 期限は新任所に移ってから二週
 間以内となっております。

は選挙期日前四日まで)です。
 不在者投票をされる方は、送致
 を受けた投票を投票管理者に送達
 する関係上、早めにすませて下さ
 い。

投票時間は午前七時から午後六
 時までです。
 うっかりして忘れていたり、
 めんどろなことで、長い間ほ
 うり出しておくと、職権で住所
 を消す、つまり住所不定になっ
 てしまいます。
 住所を異動した場合は忘れず
 に役場戸籍住民係まで、印かん
 と国保加入の方は被保険者証を
 お持ちの上届けをください。な
 お、新任所地も明確に。

めぐまれない人を
 幸せに

町ではめぐまれない人たちが少
 しても幸せになれるよう努力して
 いますが、このほど次のことが改
 正されました。

○重度の心身障害者の医療費無料
 の範囲が広がりました。

昨年十月より重度の心身障害者
 の医療費が無料になっていますが
 五十年四月一日よりその範囲が広
 げられました。身体障害者の等級
 が現在実施の一級二級に、さらに
 三級が加えられました。また、精
 神障害者の障害程度がA(重度)
 のみであったのが、新たにBが加
 えられ、療育手帳の交付を受けた
 者全員の医療費が無料になりました。
 これらは町独自のものです。新
 たに三十八名の方が該当します。

○なたきり老人の見舞金(年一回)
 が五千円から六千円になりました。

○八十才以上の方に支給する町の
 敬老年金(年一回)が三千円か
 ら五千円に引き上げられました。

善意の心



町社会福祉協議会へ左記の
 方々から暖かい寄付が寄せられ
 ました。厚くお礼を申し上げます。
 ます。

✧大町南 小西常夫氏 (五千円)

✧日本民謡福島桃元会
 代表 後藤松雄氏 (五千円)

✧桑折町字塚上五一四
 田村次郎氏(二万円)

町民学校家庭の園
 芸の講師

今月の納税

固定資産税 第一期
 国保税

忘れずに納期限まで
 納めましょう。



ウイルス病の予防接種

次によりウイルス病の予防接種を行います。希望者は役場保健衛生係まで申し込んで下さい。

○期日 第一回四月二十一日

○時間 午後一時十五分から四十五分まで

○場所 町民福祉センター

料金 一人一回二百円

(昨年受けた方は一回のみ)

保健衛生係

☎公2-111-1 有4161

労働保険の更新

事業主のみなさん、昭和五十年度の労働保険(労災保険、雇用保険(失業保険))の年度更新の時期がまいりました。

今年の年度更新は、労災保険率の引上げ、雇用保険率の一部改訂

が行われましたので、四月初めに局、県から送付される申告用紙と記入要領をよくお読みください。五月十五日までに、自主申告、自主納付をもよりの金融機関、郵便局、労働基準監督署または県失業保険課にされますようお願いいたします。

また、期日までに申告ができるよう、貸金台帳等を整備しておかれるようお願いいたします。

福島労働基準局
福島県商工労働部

事業所統計調査にご協力を

総理府統計局では、五月十五日現在で全国いっせいに事業所統計調査を行います。

この調査は、二年ごとに国が実施する統計調査で、全国の事務所、店舗、旅館、学校、病院、寺院などすべての事業所についてあらゆる調査を行なう、いわば事業所の国勢調査ともいえる大切な調査です。



お忙しいところ恐縮ですが、御協力くださるようお願いいたします。

国保被保険者証の交換はすみしましたか

四月一日から国民健康保険の被保険者証が、黄色の新しいものにかわりました。今までの保険証は三月三十一日限りで使えませんが、まだ交換していない人は今すぐ役場国保係で交換してください。また、遠くの学校に行くため交付する学や、長い間住所を離れるための特などの保険証も交換しますので忘れないようにしてください。なお、わからない点は、国保係におたずねください。

狂犬病予防注射のサーブिस日

先月号で、畜犬登録と狂犬病予防注射の日程をお知らせしましたが、その日受けられなかった方のために再び行います。

○とき 四月二十九日

○時間 九時三十分～十二時

○場所 役場車庫前

○料金 七百四十円

※犬の放し飼いは絶対にしないでください。

おめでとうございませう

(二月中に届けられた人 敬称略)

父の氏名	子の名	父の氏名	子の名
赤井則義則	喜久子	源宗山	源前
齋藤則雄	洋久子	源宗山	源前
石川武正	雅佳子	源宗山	源前
高橋豊光	智子	山崎小節	山崎小節
蓬田俊一	英利子	宮町北	宮町北
渋谷貞明	竜夫	光明寺	光明寺
武田新一	美弥子	宮町南	宮町南
三浦久男	靖崇	宮町南	宮町南
黒田勝夫	由美子	泉山下	泉山下
佐久間利信	信哉	鶴町	鶴町
渡邊幸一	仁志	泉山下	泉山下
六戸豊七	孝光	滝山	滝山
菊地義雄	信子	石母田原	石母田原
菊地良七	守	石母田原	石母田原

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	部落
渡邊 キミ	82	大町北
新妻 ミツ	96	錦町
仲田 しも	60	宮北
八島 キツ	86	山崎北
神尾 カヨ	47	町東
小西 正吉	76	大町南
鴨田太郎	79	内谷東
佐藤かつよ	79	内谷東
大沼 ユウ	79	貝田

編集日記



樋口かねよ	73	錦町
佐藤八郎	76	原町
我妻松次郎	50	板橋

▽春らんまんの四月、ホカホカ陽気についてウトウトと……めまぐるしい世の中だけれど、たまにはのんびりと、ゆく春を満喫しましょう。

▽四日は各小学校の入学式、ピカピカのランドセルを背負いながら期待に胸をふくらませている一年生。あとも、一日から高速道路が開通し、町も画期的な第一歩を踏み出しました。この子たちが大きくなる頃は町の様相も大きく変わっていることでしょう。▽今月から表紙のイメージを変えてお届けします。いかがでしょうか。広報について、お気付きの点や、ご意見がありましたら、係までお寄せください。